

# アイリス Letter

## 保護者の皆様へ

2023年 3月 2日 発行  
第 10号  
広島女学院中学高等学校



### 聖書のことば

命の泉はあなたにあり  
あなたの光に、わたしたちは光を見る。

詩編 36 編 10 節

中高間の道路に並ぶ桜の木の芽が大きく膨らんでいます。朝の寒さには冬の厳しさが残っていますが、陽の光に春を感じる毎日です。神様から与えられた光に照らされて、自然の営みを見たり感じたりできているように、神様から愛され、私たちが愛することができることを覚えたいと思います。

さて、私は 2 月 18 日から 24 日の期間、ニュージーランド (NZ) に学校視察に行っていました。初めて訪れた彼の地での出会いについて皆さんと共有したいと思います。視察した学校は 3 校で、いずれもイギリス式の教育を実践しています。まず制服があり、上級生と下級生でネクタイの色が異なる点を始め、本校と共通する点が意外にたくさんありました。授業は日本よりずっと少人数ですが、真剣に学ぶ姿勢は本校と同じで安心感を得ました。どこの学校でも歓迎して下さっただけでなく、多くの時間を割き、懇切丁寧に様々なことを教えていただきました。私は初めての NZ 訪問で緊張していましたが、むしろ心が落ち着くような素晴らしい出会いでした。

一方でニュージーランドの学校でも抱えている問題は日本と似ている面もありました。訪問した 3 校の校長先生はどなたも SNS 対応に苦慮しているとおっしゃっていました。国は違えど、自律することの難しさは変わらないようです。

さて、NZ では先住民族であるマオリ族が大切にされています。しかし、民族だけに限らず、あらゆる場面ですべての人の人権が大切にされていることを実感し、またそのことを NZ の人々は誇りに思っていることも今回感じることができました。

赤道を対称の軸としてほぼ線対称に位置する国にもかかわらず、道行く車に目を転じると半数くらいが日本車でした。そのためか、どことなく落ち着くような、外国にいることを忘れさせてくれるような風景が印象に残っています。一方で、季節は逆です。夏の終わりというより初秋の気候で、さわやかな風が吹いていました。さわやかなのは風だけでなく、人々もそして国自体もさわやかです。そんな素敵な国の学校と本校がつながることで、広島女学院でも新しい宝物を育てていけるのではないかという新たな希望を抱いた視察でした。



(校長)

## 中学入試、オリエンテーションについて

1月21日(土)に、中学入試が行われました。新型コロナウイルス感染症への対策など心配もありましたが、無事に終えることができました。

中3・高2の生徒たちは入試準備で教室をきれいに掃除してくれ、気持ちの良い環境を整えてくれました。また、入試当日、朝早くから受験生が安心して試験に臨めるよう働いてくれた補助生徒の皆さんにも心から感謝します。

合格発表の後、2月4日(土)第1回新入生オリエンテーションで制靴やカバン等の購入、18日(土)の第2回オリエンテーションを終え、新入生はいよいよ4月7日(金)の入学の日を待つばかりとなりました。在校生の皆さん、新しい女学院生を笑顔で歓迎しましょう。(中学教頭)

## 2023年度中学生徒会役員 選挙結果

来年度の生徒会五人委員は次の人たちが選出・承認されました。

五人委員      2年2組    K. S  
                  2年3組    K. M  
                  2年5組    G. S  
                  1年4組    K. T  
                  1年5組    F. K

選出された五人委員には、女学院中学校生徒会の伝統を守りつつも、さらに発展し続ける生徒会であるよう、それぞれの力を十分に発揮していってくれることを期待します。

(中学選挙管理委員会顧問)

## 中学英語オラトリカルコンテスト

2月7日(火)に第47回オラトリカルコンテストが行われました。中1、2は暗唱を、中3とインターナショナル部門の生徒はそれぞれのテーマでスピーチを発表しました。

各クラスの代表者は本番前こそ緊張していましたが、ひとたび登壇すると堂々と練習の成果を発揮していました。中1、2は単に暗記した英文を読み上げるのではなく、そのストーリーがうまく伝わるように様々な工夫を凝らしていました。中3は自分で書いたスピーチの発表です。自分の思いや経験を通して考えたことや、社会的な話題に対する意見を流ちょうに発表していました。すべての発表がオラトリカルコンテストの伝統にふさわしいものとなっていました。聞く側の生徒も真剣に各々の発表に聞き入り、発表者が全力を出せる雰囲気を作っていました。また、MC(進行役)の中3生はコンテストを円滑に進めただけでなく、クイズなどで会場を盛り上げてくれました。

受賞者は以下の通りです。

<b>中1</b>	1位	T. Y	(1-2)	<b>中3</b>	1位	O. Y	(3-5)
	2位	S. M	(1-1)		2位	K. K	(3-1)
	2位	I. A	(1-4)		3位	S. J	(3-4)
	3位	I. W	(1-5)		敢闘賞	Y. A	(3-3)

中2	1位	K. R	(2-1)
	2位	W. M	(2-3)
	3位	T. N	(2-3)
	3位	N. K	(2-2)

インターナショナル部門	1位	S. M	(2-1)
	2位	N. A	(3-2)

(英語科)

## GECの活動について

### ①タイの学生とのオンライン交流

2月9日(木)に、タイにあるモンフォート高校の学生たちとオンラインで交流をしました。モンフォート高校は、今女学院に留学生として来ているMさんの出身校です。この高校では日本語の授業があり、そこで日本語を学んでいる生徒さんたちが参加してくれました。女学院からはMさんを含め高校1年生の生徒11名が参加しました。最初にお互いの学校を紹介し合い、その後グループに分かれて文化の紹介を行いました。初めての交流に緊張気味でしたが、グループでの交流を行ううちに打ち解け合い、学校生活の様子や趣味など質問し合っていました。1時間ほどの短い間でしたが、お互いに楽しい時を過ごすことができたようでした。Mさんは3月に帰国しますが、これを機に、つながりを深めることができればと思っています。

### ②GI高1生 九州研修

高1GI生は、2月上旬に研修旅行に行きました。初めに、特攻隊員たちの写真や遺書が保管されている、鹿児島県の知覧特攻平和会館を訪れました。知覧市は、沖縄戦の際に日本で最も多くの特攻機が飛び立った基地がある場所です。教科書には載っていない、特攻隊員の心の声を聴いたような気持ちになりました。また、熊本県水俣市では、高度経済成長の裏側で起こった公害病について、現地の方からお話を聞かせて頂きました。目先の利益にとらわれず、弱者の声に耳を傾けることの必要性を感じました。二日間の研修を通して、五感で歴史を体験することの重要性を再認識しました。歴史から学び、未来を想像していくことが、私たちに託されています。貴重な経験を、今後の活動に活かしていこうと決意を新たにしました。

(高1GI生)

### ③フェリス女学院高校との碑めぐり交流会

2月8日(水)午後、フェリス女学院高校1年生(175名)との碑巡り交流会を平和記念公園・国際会議場で開催しました。3年ぶりの対面形式での交流となり、広島女学院からは中3～高3まで79名の希望者が参加しました。約半年間の準備は決して楽ではありませんでしたが、参加した生徒の全員が「自分も平和活動に携わりたい」という使命感をもって毎週熱心に集まり、準備を進めてきました。当日は天候も良く、フェリス生と女学院生が混合した20のグループに分かれて9つの慰霊碑を巡りました。交流会では礼拝の後、フェリス女学院の有志生徒5名による調べ学習の報告、広島女学院生による平和活動や平和学習の紹介を行い、各グループに分かれて短時間のディスカッションを行いました。現在進行形で戦争が起こっている中での議論ということもあり、同世代で真剣に話をしたことは両校の生徒に

とって内面を大きく揺さぶる出来事だったようです。参加した生徒の皆さんには、自分のこととして戦争や平和のことを考えられる人になってほしいと願っています。

(碑めぐり係)



## じょがく in Love

2月11日(土)に小学3～5年生を対象とした冬のオープンスクール「じょがく in Love」を開催し、352名の参加がありました。今回はゲンスホールでの共通プログラムに加え、複数のプログラムからひとつ選べる体験プログラムも準備しました。

共通プログラムは「女学院らしさ」満載の内容でした。礼拝体験(中2生が感話担当)を通して、女学院生の一日の始まりの雰囲気を感じてもらったり、英語のスピーチ(中3生担当)やマンドリン部の演奏に耳を傾けるひと時を持ってもらいました。

体験プログラムでは授業体験、部活動体験、校内ツアーなど全部で13のプログラムの中から、1つを選んでもらいました。どのプログラムでも、小学生の皆さんと女学院生や先生とが楽しそうに交流している姿が印象的でした。女学院の日常の雰囲気を感じてもらえるプログラムとなりました。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響でやむなくオンラインでの開催となったため、対面での開催は2年ぶりとなりました。実際に足を運んでいただき、体感してもらうことで、小学生の皆さんに広島女学院の魅力をより多くお伝えすることができたオープンスクールになったと思います。また、事後アンケートも大変好評で、今後のイベントも更に工夫を凝らし、魅力発信に貢献できればと思っています。



マンドリン部による演奏



理科の体験授業の様子

(広報部)

## 保健室だより (10)

学期末の慌ただしい時期ですが、心は元気に過ごせているでしょうか。

病気やケガの予防と同じように心の健康も予防しましょう。心の健康を予防するためには、自分なりのストレス解消法を知ることや身近な人に相談すること、問題が起こった時に解決法を考えられることです。疲れていたり、モヤモヤしている時には、自分から目をそらすのではなく、なぜモヤモヤしているのかを調べることで、自分が大切にしたいことや必要にしたいことが見えてくるでしょう。時には、ワガママになることも大切です。

ワガママの中には自分自身を成長させ、新たな原動力に繋がるものもあります。自分を切り捨てずに自分らしさを発揮することで、周りも自分自身も幸せになります。

高校3年生は卒業を迎えました。女学院で過ごした6年間はどうか？きっとたくさんの思い出がそれぞれの心に輝いていると思います。明るく周囲の人のことを大切に考えられる皆さんの周りには、たくさんの絆があります。心身ともに健康に過ごすために周りの家族や友人を大切に新たな一步を踏み出してください。きっと今近くにいてくれる人は自分の生活をよりよいものにしてくれます。 (保健室)

## 心の健康 (10)

3月となり、今年度も終わりです。この1年もカウンセリングルームで心理相談を中心に面接をしてきました。定期的に継続する相談も1回きりや短期の相談も多く、生徒の来室は、年々、多くなってきています。

心の健康を保ったり、心のバランスを維持していくのがしんどかったりする場合は、継続面接が必要ですし、自分の考えや気持ちの整理をしたり、確認をしていくのには、1回あるいは短期の面接がいいようです。話をして人に聞いてもらい安心をし、納得して心のバランスを立て直します。

3月は1年間のまとめをしたり、日頃のことを振り返ったりします。そして、ひと区切りをつけます。ひと区切りをつけることによって心は整理され、次への意欲が湧いてきます。

3月でひと区切りをつけて、新しい意欲を秘めて新年度・新学期の4月を迎えましょう。

(カウンセラー)

## 生徒の活躍

◇第29回中国地区書き初め大会 特選受賞 1-3 T. R

◇高校理科部 化学班

令和4年度広島県科学セミナー第3回科学セミナー(発表会)優秀賞

「太田川放水路における海水の遡上」 2-B N. K 1-C K. A

◇第24回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA オンライン決勝大会(動画審査)  
中学生部門 銀賞 2-2 H. K

◇第62回大阪国際招待卓球選手権大会(全国オープン)カデット女子の部  
2-2 U. A

## 高1 探究活動 観光甲子園・準グランプリ

1年D組の生徒5名が観光甲子園 SDGs 修学旅行部門に出場し、見事全国2位・準グランプリを獲得しました。

これは、SDGs 課題を解決できる修学旅行プランを提案するコンテストです。昨年6月から2月まで、生徒たち自身で江田島の市役所や水産業者の方などにアポイントを取り、現地でのフィールドワークを重ねながら、魅力あるプランを練り上げてきました。作成した企画書と動画は高く評価され、審査員の JTB の方からは「重い課題に対して、楽しく取り組む姿勢が伝わってきた」と講評をいただきました。生徒たちは、江田島のみなさんと出会い、絆の強さを感じられたことが最も印象に残ったと語っていました。

企画書と動画は、こちらからご覧になれます。 <https://www.nexttourism-contest.jp/>

(探究活動推進委員会)



### 今月の聖句

わたしの目にあなたは価高く、貴く  
わたしはあなたを愛し  
あなたの身代わりとして人を与え  
国々をあなたの魂の代わりとする。

イザヤ書 43章4節

キリスト教に出会って一番良かったこと、それはありのままの自分を好きになれたということです。中高時代、傷つくことを恐れて本当の自分を隠して生きていた私が、弱さや欠点も含めて、自分を愛せるようになった。神様が無条件に愛して下さる自分なのだから OK と思えるようになった。そうやって人との出会いに自分を開いていく勇気が与えられると、自分には無理だと思っていたことができてしまって、その中で多くの喜びを与えられました。それが私の今を生きる力になっています。

中高時代は心が柔らかいから傷つくことも多くありますが、その分、一生懸命考えたり出会ったりしたことが、自分らしさの土台を形作っていきます。今、暗いトンネルの中にいるような気持ちの人は、そのトンネルの向こうにこそ、今まで見たことのない風景が広がっていることを信じて歩いていってほしいと思います。

(1月30日中学放送礼拝より 聖書科 T. M)

## 3月の行事予定

1	水	(高)卒業礼拝(中1・2・3、高1・2休日)
2	木	
3	金	
4	土	(L・総)
5	日	
6	月	期末テスト(高1・2)
7	火	(中1・2・3)1限8:55～15分休憩
8	水	1限8:55～15分休憩 公立大学中期日程開始
9	木	1限8:55～15分休憩 教科書販売(高2)
10	金	自宅学習日 高2代ゼミマーク模試 新高2スタディーサポート
11	土	
12	日	国公立大学後期日程入試開始
13	月	テスト返却 1限8:55～
14	火	1限8:55～
15	水	特別時間割 探究フェス [NC] 高2補習
16	木	期末テスト素点確認
17	金	中3・高1ダンス発表 中1・2個人写真 中3副教材販売
18	土	
19	日	
20	月	終業の日 (中)卒業礼拝
21	火	春分の日
22	水	マウントユニオン大学短期研修(~4/3)
23	木	
24	金	
25	土	カンボジア研修
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	
31	金	

NC・・・ノークラブデイ

※行事予定は変更になることがあります

